

平成 30 年第 2 回中津川市教育委員会議事録（要旨）

日 時 平成 30 年 2 月 20 日（火） 午後 1 時 30 分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 田島 雅子 小栗 仁志 林 由美 三尾 和樹

事務職員 早川事務局長・大巾文化スポーツ部長
小木曾教育次長兼学校教育課長・末木事務局次長兼教育企画課長
西尾教育研修所長・丹羽幼児教育課長・足立子育て政策室長
山下発達支援センター所長・林阿木高等学校事務長
吉村施設計画推進室長・二村図書館長兼蛭川済美図書館長
川合文化振興課長兼市史編さん室長・川上鉱物博物館長
糸魚川生涯学習スポーツ課長・青木中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

番 号	議 題	結 果
議第 4 号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について	承認

■教育長 それでは、これより平成 30 年第 2 回中津川市教育委員会を開催します。よろしく願いいたします。

日程第 2、前回議事録の承認につきましては回議といたします。

続きまして、日程第 3、教育長報告を行います。お手元に報告概要を配付させていただきましたのでご参照ください。前回 1 月 23 日の教育委員会以降の出席行事等を中心に報告いたします。

前回 1 月 24 日は、全国の B & G 海洋センターがある自治体の市長、町長、教育長の会議、B & G 全国サミットが行われ、参加をしました。B & G の体育館・プールの活用について全国の実践が紹介されました。1 月 25 日は教頭会、26 日は、坂下高校活力ある高校づくり推進協議会があり、生活文化科の生徒の卒業発表会のあと、坂下高校の取り組みについて委員の方と意見交換をしました。1 月 29 日から 2 月 9 日にかけて幼稚園への教育長訪問を行いました。中津川幼稚園、神坂幼稚園、山口幼稚園、坂本幼稚園をそれぞれ参観しました。各園とも、冬の寒さの中でも遊びを通した体力づくりが進められていましたし、節分など季節の行事を仲間とともに楽しむ活動がなされたりして、工夫された教育を進めてみえました。31 日には、障がい児総合支援施設「かがやきキッズ」が新しくなり、完成式に出席しました。障がい児の学童保育を行う「かがやきキッズ」は、スタッフの熱意に支えられて運営してみえましたが、これまで十分な施設がなく、旧養護訓練センターを改修するなどして利用してみえました。今回建物について中津川市が整備し、新しい施設となりました。

2 月に入りまして、1 日、13 日と、それぞれ幼稚園職員、保育園職員と「教育長と語る会」をもちました。現場の先生方のさまざまな苦勞を聞かせていただき、また教育委員会事務局の取り組みをお話し、お互いを理解することができた懇談会だったと思っております。2 日は、東濃教育長会研修会で、桑名市の星見ヶ丘小学校（文部科学省指定校）の発表会参加するとともに、来年度から教科化される道徳の研修会があり参加してきました。3 日は蛭川未来創生プロジェクト提言発表会、4 日は南地区三世代交流さわやか芸能フェスティバル、この会は田島委員が司会をお務めになってみえました。また同日、教育評価委員会にて今年度の教育委員会の事業評価をしていただきました。7 日は、都市町村教育長会合同研修会、10 日は、恵峰学園 50 周年記念式典に参加をしました。16 日には、東濃信用金庫育英会評議員会、18 日は、郷土かるた競技大会に出席しました。小栗委員が進行・運営をしておみえでした。

今後の主な予定ですが、2 月 26 日から 3 月定例市議会が始まります。3 月 1 日には阿木高校の卒業式、6 日は、市内中学校の卒業式、23 日には小学校卒業式、公立

幼稚園の卒園式は 20 日、保育園の卒園式は 27 日にそれぞれ行われます。教育委員さん方には、小・中の卒業式での告示を行っていただくことになると思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。早川事務局長。

■事務局長 それでは前回以降の主な行事について報告します。

1 月 25 日に教頭会が開かれました。26 日に第 2 回坂本こども園建築設計委託業務業者選定委員会を開催しました。2 月 1 日に幼稚園職員と教育長の語る会が開かれ出席しました。6 日は山口幼稚園の教育長訪問がありました。夜は教育評価委員会が開かれ、4 事業についていろいろなご意見をいただきました。7 日は校長会が開かれました。また、青山市長のお母様が亡くなられ、教育委員の皆様にも通夜、葬儀等お忙しい中ご参列いただきありがとうございました。9 日は坂本幼稚園の教育長訪問がありました。田島委員さんにもご参加いただきました。子どもたちは寒さに負けず、大変元気な様子を見せてくれました。13 日、第 3 回目の坂本こども園建築設計委託業者選定委員会を開催し、委託業者の選定ができました。夜は保育士さんと教育長の語る会に出席しました。保育士不足の現状や、支援児保育について、坂本こども園についてなど、保育士の皆さんの声を直接お聞きする機会となりました。他の自治体では、直接意見を聞いてもらう機会はあまりないとのことでしたので、大事にしていきたいと思います。15 日、学校給食物資取引契約説明会が開かれました。これは、中津川市では 20 の給食調理場があり、多くの業者の協力で給食の食材をまかなっておりますが、この業者の説明会です。多くの業者の皆さんに支えられて、安心、安全、おいしい給食を提供できていると思っております。19 日は、定例記者会見がありました。

今後の予定ですが、21 日に教頭会が予定されています。23 日に地域非行対策部会、いじめ対策部会の合同会議が予定されています。26 日から市議会 3 月定例会が始まります。一般質問等の対応をしていきます。また、平成 30 年度当初予算の審議も予定されています。

3 月は小中学校、幼稚園保育園の卒業式、卒園式が予定されています。お忙しいところ恐縮ですが委員の皆様にもご出席をよろしくお願いいたします。

事務局長からは以上です。

■教育長 次に、大巾文化スポーツ部長、報告をしてください。

■文化スポーツ部長 それでは文化スポーツ部にかかわる主な行事や事業についてご報告します。

1 月 24 日、第 10 回 B & G 全国サミットが全国の首長、教育長が参加され、東京で開催されました。今回のサミットにおいて中津川市長がサミット副会長に選任さ

れました。任期は3年です。1月25日、東京国立近代美術館で開催されている「没後40年熊谷守一生きるよろこび」回顧展に市長が視察されました。当日は熊谷守一付知記念館長の小南さん、近代美術館企画課長の蔵屋さんから約200点を超える作品の説明を受けました。平日にもかかわらず1日千人を超える来場があるとのことでした。未だに守一の根強い人気が伺えました。1月26日、文化財防火デーに伴う消防署の火災防御訓練が苗木城跡で行われました。建物以外を対象にした林野火災訓練は今回初めてです。1月29日、全日本ボブスレー選手権で優勝された消防本部警防課に勤務する三上大輝さんが市長に報告をされました。ボブスレー4人乗りと男子2人乗りで1位となり、2人乗りではトリノオリンピック日本代表チームを相手に、2本目の滑走で0.02秒という僅差で優勝されました。2月6日、第13回JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会で優勝された西小学校6年古山奏さんと、付知中学校1年仙野七海さんが市長に報告されました。16歳以下8人のチームで今回は刈谷市にあるチームと混成で出場されました。同日、教育評価委員会が開催され、文化スポーツ部ではB&G海洋センター運営事業と小中学生への配本事業について説明し評価を受けました。2月8日、文教民生委員会による所管事務調査が行われ、公民館運営の現状と今後について説明しました。2月10日、11日、日本バレーボールリーグのVチャレンジリーグ、I女子中津川大会が東美濃ふれあいセンターで開催されました。2月18日、第12回中津川市郷土かるた競技大会が50チーム150人参加の下開催されました。

今後の予定です。2月20日、本日夕方から、FC岐阜キックオフパーティーが岐阜市で開催されます。2月23日、博物館協議会が開催されます。2月26日、平成30年第1回中津川市議会（定例会）が開催されます。3月3日、第24回江戸時代料理復元シリーズ、大名接待料理復元展が苗木遠山史料館で開催されます。3月4日、第66回吉例歌舞伎大会が東美濃ふれあいセンターで開催されます。

文化スポーツ部は以上です。

■教育長 ただいまの報告につきましてご質問等ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 2月1日と2月13日の教育長と事務局長が行かれた幼稚園職員、保育園職員の教育長と語る会は公立だけですか。私立の方もおいででしょうか。

■教育長 早川事務局長。

■事務局長 これは公立だけで、職員組合の幼稚園部会、保育園部会というのがあり、職員組合の主催ということで、意見交換会が開かれているものです。

■教育長 そのほかに質問ありましたがお願いします。

ないようですので、日程第4、議事に入ります。

日程第 1 議第 4 号、中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について説明をお願いします。末木事務局次長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 1 と 2 を説明していただきました。いずれかにつきましてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

小栗委員。

■小栗委員 1 つ目の議案について質問させてください。議案については問題ないかと思っております。参考までにお聞きしたかったのが、このふるさと納税を使つての寄附金の進捗を教えてくださいと思います。

■教育長 後ほどということをお願いします。

ほかにご質問ありますか。

田島委員。

■田島委員 オリンピックが開催されていて、小平さんが金を獲られ、その喜びの報告のところに、小平さんの所属する病院の記事がとてもたくさん出ています。あれは一つの寄附ですよ。所属させておいて、仕事しなくても頑張って精進してくれという形です。金メダルを獲って、日本はもとより世界中の方がこんな素敵な支援の仕方があるということを学んだと思います。それで、こういう機会を機に、自分もできることを探す寄附者の方々が現れてくるのではないかと期待しているのですが、寄附者をできるだけ増やしていけばいろいろなことにも大変都合がよく手厚く子どもたちのため、中津川市の市民のためになるのではないかと思いますので、寄附者を増やすような取り組みというのはあるのでしょうか。

■教育長 末木事務局次長。

■事務局次長 寄附というのは当事者の意思によって行われる、自主的な判断によって行われるべきものであるもので、たとえば先ほど私が説明した教育施設の基金については、現状としてはピーアールというか、寄附をいただくような活動は行っておりません。ふるさと納税につきましては、ホームページなどを活用しておりますが。そのほかの基金については寄附の周知は市役所全体の中でもあまり行われてないと思っております。

■田島委員 今伺いましたが、本当に、自分でも何かしたいというきっかけというか、したいという筋道が見えてくると、ひょっとしたら退職金をたくさんいただいたから中津川市のためにしようとか、いろいろな方がおられると思うので、筋道を見ていただく、示す、ピーアールするという事は非常に大事な事だと思います

ので、何かそういう道をつけていただきたいと思います。

■教育長 早川事務局長。

■事務局長 先ほどのふるさと納税につきまして、今年度は、返礼品をわりと豪華なものにしたのと、ふるさと納税のいろいろな全国の返礼品が一覧になっているホームページに参加したということで大変たくさんの寄附をいただき、今年度の実績が確か2億余あったと思います。そして、来年度は、返礼品の返す割合を30%に抑えておりますのでちょっと低く見積もっております、1億386万円を来年度当初は見込んでおります。それでも前年度比の526%増と見込んでおまして、こういったふるさと納税を多くの人に知ってもらって、地元、中津川市というところに寄附をしていただく割合が大変高くなっているということです。29年度分のふるさと納税が2億8800万円の見込みです。昨年度は大変少なかったのですが、大幅アップで、有り難く思っております。

■教育長 ほかにご質問ありますか。

ないようでしたら、次に3つ目、8ページ、指定管理者の指定について説明をお願いします。糸魚川生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきましてご質問、ご意見ありましたらお願いします。田島委員。

■田島委員 指定管理料はゼロということですが、使用料で賄っていくという形の運営で間違いないですか。

■生涯学習スポーツ課長 使用料を受けてそれで管理運営、施設の管理、人件費をまかなっていただきます。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 使用料というのは1団体につきですか、個人でいくらというふうでしょうか。

■生涯学習スポーツ課長 使用料は1人1回350円という形と、パスポートは年間で3500円、1回買っていただければ1年間で何回でも使えるというのものです。

■三尾委員 分かりました。ありがとうございます。

■教育長 ほかにありますか。

小栗委員。

■小栗委員 これを見させてもらおうと、ほぼボランティアで市としては大変有り難い指定管理者なのかなと思いますが、一つ教えていただきたいのは、直営の場合の

維持管理費のその他の 83 万円が、指定管理をすると 3 万 3 千円になるという、そのマイナス要因には何があるんですか。

■生涯学習スポーツ課長 指定管理料の 3 万 3 千円は電話代ですが、その他、これを差し引くと 80 万円弱になるわけですが、それは別枠で、管理費をお支払いしているという部分です。

維持管理費のその他の 83 万 2 千円は管理委託という形で、人件費とは別になります。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 委託はどこに出しているのですか。

■生涯学習スポーツ課長 管理運営委員会です。

人件費で 67 万 2 千円というのがありますが、それと管理委託費で約 80 万円お支払いして、指定管理の 30 年では 120 万円というのがありますが、それに相当する部分で、合わせて若干直営よりは指定管理の方が安価になるというものです。

■教育長 ほかにありますか。

田島委員。

■田島委員 マレットゴルフ場は一人 1 スポーツをというのを目指しておられるのだと思うんですけど、落合にこうやってできて、坂本、蛭川、福岡にあって、あとどこかに造る予定はありますか。

■生涯学習スポーツ課長 落合の石畳マレットゴルフ場ができて、これで中津川市のゾーンの的に網羅されたというところで、以後の建設予定はありません。

■教育長 ほかいかがですか。

ないようでしたら、4 つ目の平成 29 年度中津川市補正予算について説明をお願いします。末木事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの補正予算の説明につきまして、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 歳出のところで、02 保育所費、I T 化を進めていてできなかったのが返却すると聞いたのですが、なぜできなかったのでしょうか。できなかったらその次にやる計画はあるのでしょうか。

■教育長 丹羽幼児教育課長。

■幼児教育課長 I C T 化は、いろいろな情報化関連の補助金ですが、市内 5 園で

入園時の園児の管理などパソコンを整備したいということで手を挙げられたんですが、実際、後々のランニングコスト等を考慮すると、ここで入れるとかえって後での経費負担が大きくなるということで、手を挙げられた後に実施しないという形にされました。ただ、国の方は、一度挙げられたものについて、28年度中の事業だったので補助金を受け入れてほしいといことで受け入れを行いましたので、その精算ということで29年度中に行って今回返すものです。

■教育長 ほかにご質問、ご意見ありますか。

三尾委員。

■三尾委員 歳出で、繰越になってはいるのですが、保育園のエアコンの設置というのがあります。小中学生では特別教室を除き教室のエアコン設置はほとんどゼロだと思いますが、保育室のエアコン設置の率が分かれば教えてください。

■教育長 末木事務局次長。

■事務局次長 公立保育園は、遊戯室はほぼ100%、給食室も同様です。一番遅れているのは保育室で、現在は94の保育室がありますが設置済みは42です。率にして43%になります。ちなみに、幼稚園は、遊戯室、職員室は100%、保育室は21あり0%。この違いは、保育園は夏休みがなく一番暑い時期も子どもさんを預かっているという理由からです。

■三尾委員 ありがとうございます。小さい子なのでできれば足並みそろえて、一緒によい環境が整備されるといいと思いました。

■教育長 ほかにご質問、ご意見いかがでしょうか。

田島委員。

■田島委員 また寄附にこだわっているのですけども、歳入の17、明治座維持補修寄附金が150万、見込みという言い方をされたのでちょっと不思議だと思いますが、見込みというのは一体どういうことなのでしょうか。

■教育長 文化振興課長。

■文化振興課長 現在の歳入の予算が300万円なのですが、年度末までに約450万円ほど歳入が見込まれるということで、これは去年の実績を今までの収入額に足したものです。逆に言うと、歳出の積立金をきちんと予算を取っておかないと、せっかく寄附をいただいた寄附金を基金に積み立てられないので、両方がリンクしているわけです。増えた原因が、10月に今年度飛騨美濃歌舞伎大会を明治座で行い、その後の11月3日に、中村座の錦秋公演があり、飛騨美濃歌舞伎は370人、錦秋公演は1000人の来場者があって、非常に寄附金が多かったということです。一時期、平成27年度に改修が入ったので、過去3年の実績ではちょっと見込まれないんですが、当初29年度の寄附金を見込んだ額よりも大幅に増えたということで、

その額の分をここで積み増しをできるように事務処理をするというものになります。

■教育長 ほかにいかがでしょうか。

ないようでしたら 5 つ目、平成 30 年度の中津川歳入歳出予算について説明をお願いします。末木事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ここまでの教育委員会事務局分につきまして、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。

■田島委員 全体的なことで、中津川市における教育費の割合はどんな感じなんでしょうか。

■教育長 末木事務局次長。

■事務局次長 教育委員会事務局関連のみ説明させていただきます。10.9%です。29 年度に比較しての増減は、一般会計では 1.5%ほどの増ですが、教育委員会事務局関係の予算としては 4.5%の増で、全体よりも多く増えています。

■教育長 ほかにご質問、ご意見ありますか。

田島委員。

■田島委員 人口がどんどん減っているということで、税収もどんどん減っているということで、毎年どれだけか一律に予算の申請を削るという話を聞いているんですが、今回はどんなふうでしたか。

■教育長 末木事務局次長。

■事務局次長 歳出予算につきましては市町村合併してから 10 年経ちましたので、国からの地方交付税というものが今階段を下りるように減ってきております。そうした中で、義務的な経費を除いて経常的な経費については前年比マイナス何%というようなことが示されております。それと、各種団体に対する補助金、交付金につきましても、数年前から毎年 2%ずつ、5 年かけて 10%、1 割減ということでやってきておまして、現在もそれは続いている途中です。あと 1 年か 2 年でそれについては終わると思います。全体を通して経常的な費用に関しては、予算に関してはマイナスという方向になっております。

■教育長 早川事務局長。

■事務局長 財政的な指示はそのようにシーリング等の指示があるわけですが、今回もですが、必要な経費は上げていきたいというところから、必要な分だけ計上してあります。一律に下げないといけないから下げるといようなやり方はしてなくて、事務費等も精査してしっかり上げていると思っております。

■田島委員 今おっしゃったように、要るものは要るし、中津川づくりのためということで、さっきおっしゃった 4.4%増ということで、ちょっと有り難いと思いがら見させていただきました。ありがとうございました。

■教育長 ほかにご質問、ご意見ありますか。

田島委員。

■田島委員 こども園について伺います。こども園の設計者を選定されたという話をさっき伺ったのですが、設計者の選定について、基準などはどんな状況だったかなど、分かるところを教えてください。

■教育長 吉村施設計画推進室長。

■施設計画推進室長 今回プロポーザルで設計者の選定をしたのですが、19 者が一次審査に申し込みされ、19 者から 5 者に絞って 2 次審査をして、最終的に 2 月 13 日に 2 次審査で 1 者に絞り込みました。基準等は、過去の実績とか、今回の提案内容とかが的確なのかとか、実現性があるのかとか、そういう観点でやりました。細かいところまでは公表しておりませんのでこの程度の話になってしまいますが。

過去には図書館でもやられたと思うんですが、同じような形で技術提案書を提出していただき、それを見ていただいて審査員が点数を付けて、最初は上位 5 者を選んで、次に上位 5 者に点数付けをして最終的に 1 者を選びました。図書館とほぼ同じやり方だと思います。

■田島委員 使用する先生方や親の声は反映してないわけですか。

■施設計画推進室長 今回選定委員として 7 名の方にやっていただいたのですが、保護者は選定委員には入ってないですが、公立保育園の代表の先生と公立幼稚園の代表の先生には入っていただいて選定はしていただきました。今回はまだすごく具体的な提案というわけではないので、今後具体的な設計をしていく中で、地域の皆様や保護者の皆様の意見、職員の意見などを取り入れていいものをつくっていきたいと考えています。

■田島委員 デザインは非常にいいとか、非常に光が取り入れられて格好はいいけど掃除がしにくいとか使いにくいとか、今までできた施設の中で多々あるようですから、できるだけ上手に進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

■教育長 そのほかいいですか。

それでは文化スポーツ部の 30 年度予算について説明をお願いします。糸魚川生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 文化スポーツ部の説明につきましてご質問、ご意見ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 18 ページの歳出のスポーツ政策事業ですが、市民一人 1 スポーツ推進事業とあって、これはスポーツ推進委員さんたちが活躍する支援費ということで入っています。私は桃山区というところに住んでいるんですが、桃山区の実態をお知らせしますと、スポーツ推進委員はいます。スポーツ大会みたいなものがあり、そこに行きましょうという状態ではないのです。スポーツ推進委員が 1 人行くだけです。それで、スポーツ推進委員が何をやっているのだろうと、会議にはおいでになっているんですが、私たちには、スポーツしてくださいとか 8 万人のヘルスアップですとか、中津川市民が一人 1 スポーツをやらないといけないのでまずは地域からとか、そういうことを聞いたことがないのです。それは桃山区だけかもしれません。でも、これはしばらく一人 1 スポーツというのを提唱しているので、どんな具合かというのを調べていかないと、大々的に 8 万人のヘルスアップとってあちらこちらにポスターが貼ってあったり、議会で皆さんがウェアを着て臨んだりはおられるんですが、本当に末端の区民まで分かっているのだろうかというのを疑問に思って、調査をしてみるということをお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 8 万人のヘルスアップのけんばちくんの関係で言うと、今年度政策の方から、横串会議というものをやりまして、やはりけんばちが浸透してないというところで、関係各課が集まって、いろいろな浸透に向けてそれぞれの課で行う事業の中でけんばちくを紹介していこうという方向で今年 1 年、まだ途中ですが、やっております。そんなことで、けんばちくんについてはそういったことで進めているということです。

1 市民 1 スポーツについては、スポーツ推進委員も関連するのですが、生涯学習スポーツ課では、体育協会の各支部へ各地区で何かスポーツを、一人 1 スポーツ勧めてくださいということで交付金的なものを出しています。事業、ウォーキングでもマラソンでもいいですということで、地域の特色に合ったものを進めてくださいということで、提案をさせていただいています。

■田島委員 活動というか、動きはあるということで、私のところにその動きが来ましたらまた報告します。

■教育長 林委員。

■林委員 鉾物博物館で、歳出と歳入の桁がこんなに違うのでちょっと驚きです。歳入のところでは、やはりそれぞれの館の使用料ですね。それぞれとても意義の

深いことを展示したり見ていただくように計画したり、東山魁夷さんとか、県内じゃなくて県外の人たちにも興味のあることが展示されているだろうと思いますが、使用料がやはりちょっと少ない。だけど経費はこれだけかかりますというところでいくと、それぞれの館長は結局お金が儲かるとかそういうことではなくてやってらっしゃるわけですが、意義深さをさらに深めるために、どういう工夫をされているかというところをちょっとお伺いしたいのですが。

■教育長 川上鉦物博物館長。

■鉦物博物館長 博物館については、今委員がおっしゃったとおり、利益を追求するところではないわけですが、特に公立の博物館というところは、いろいろな資料の保存とか収集とかというのが、後世に伝えていくというところで、非常にお金がかかったり、施設の整備をするのにお金がかかるというところがあります。

確かに多くの方に来ていただくということが一つの目的でもありますので、そういうものを持っていただけではどうにもならないので、それを皆さんが見たり、学習して研究していただいたりところにつなげていきたいわけですが、今のところ、各館での独自性というか特徴がありますので、それに向かってまた努力をしているところです。たとえば遠山史料館ではお城跡にたくさんの観光客がみえるというところで、観光課とも協議をしながら、そこへ寄っていただけるような整備をしたらどうかという話で進めています。

中山道歴史資料館については、中山道を歩く方が多いというところで、そこでちょっとでも寄っていただけるよう外国人の方のために英語看板を作ったりとかしながら、少しでも利用者を増やしていくというところも併せて、ただ観光が目的で来ていただくというだけではなしに、そういう歴史や自然科学とかを皆さんに少しでも知っていただけるような方向で取り組んでいるところです。

■教育長 そのほかありますか。

田島委員。

■田島委員 看板の話が出たのですが、苗木城の看板がとてもやさしくて奥ゆかしくて小さいのです。桃山公園あたりに何人も苗木城に行きたいという人と出会います。それで、送ったことがあります。苗木城に行きたいのだけど、看板が分からないらしいんです。この裏の駐車場から苗木城に行くところの看板も本当に小さいですよね。ああいうのは、何とかしていただけるといいなと思います。

■教育長 川合文化振興課長。

■文化振興課長 田島委員がおっしゃったような案内看板には、観光課でも一生懸命取り組んでおります。桃山公園からの誘導というのは今初めて聞いたので、その辺も、やはり歩かれる方がいろいろな経路を通って行くというのが、建物の中で

座ってばかりいるのでなかなか分かりませんので、ほかの委員さん方もそうした声
がございましたらぜひお届けいただきたい。観光課と連携してやっていきたいと思
います。我々、史跡整備内の事業を主にやっているのですが、今後取り組んでいきたく
いと思うのは、案内の多国語化です。そのあたりで、今すぐに全部ができるわけでは
ありませんが、ご意見を頂戴できることがありましたら、ぜひこうした場でご発言
いただき、参考にしていきたいと思います。

■教育長 林委員。

■林委員 中山道の歴史資料館は、駅を降りてこうやって歩いて行くと街並を通っ
ていけますよとか、もう少し外国から来た方たちに街で時間を過ごしていただける
ような工夫をするのいいと思えます。バスを待っていてただ馬籠へ行きたい、妻籠
へ行っちゃう、それだけになってしまっている気がします。私は、ATMはどこに
ありますかとか、ちょっと食事をするのはどこですかなど、歩いていて外国の方か
ら聞かれたことがあります。そうじゃなくて、やはりこの街も見べきところがあ
ります。ちょっと寄ってみてくださいという、取り組みというか、そういうチャン
スを来た人たちにも差し上げて中津川市の街で、妻籠馬籠へ行く前に過ごしてい
ただけるような工夫をさらに期待したいところです。

■教育長 川上鉦物博物館長。

■鉦物博物館長 中山道の安藤館長がよくいろいろなところへ出かけていかれてい
ると思えますが、中山道自体が、歴史資料館だけでなく、中山道沿いというところ
で、いろいろな文化施設があります。そういうところも含めて、安藤館長自体が案
内をしたりして、中山道自体を知ってもらおう。中山道中津川宿というところを知っ
ていただくというところを、観光課などとともに、横串会議などで連携しながら、
まず寄ってもらって、その後にというところになるような形で少しでも努力してい
きたいと思えます。

それと、外国人の方につきましては、中山道資料館の中で、通訳ボランティア、
中津高校の方とやったり、英語で話してみようという教室なども少しやっておりま
すので、いろいろなことで国際化というか、そういうのにも対応していきたいと考
えていますのでよろしくお願いします。

■教育長 ほかにご意見等ございますか。

田島委員。

■田島委員 19 ページの青邨大賞が今年あるということですね。青邨大賞と守一大
賞が、ビエンナーレ、2年に1回からトリエンナーレになりましたよね。そのとき
から私はすごく思っているのですが、これはどれほど中津川市民のためになっている
のだろうと思うのです。確かに事業的には目玉で非常に素晴らしいことなのだと

うと思います。けれど、青邨大賞の表彰式、守一大賞の表彰式が行われますが、その出席率を見ると、本当にやっているの？ 皆さんの興味があるの？ 中津川の人には？ というような出席率です。一部の美術家さんたちにとっては登竜門的なところがあるのかもしれないけれど、それが中津川市民のために一体どんなふうになっているかというのをそろそろ検証してみてもいいのではないかと思います、いかがでしょうか。

■教育長 川合文化振興課長。

■文化振興課長 実は、この委員会に出席する前に市民展のことで苦情を言いに来た人がいて、市民展の特に写真部門だと思いましたが、市外の人が賞をかつさらっていったみたいな話でした。市民の税金を使って市民展の賞を与えるというのはどういうことかということで、先ほどうちの係員が対応していたので、僕はこの委員会の間ずっと気になっていて、意識がそちらに行っているところがありました。今、田島委員がおっしゃられたそうした検証も含めて、多額の税金を使って開催する公募展であるので、市民にどれだけ還元されているかということは、28年度の外部評価のところでも言われましたし、28年度に守一大賞展の記者会見のときも、ある記者からも同じことを言われました。我々としては事業としてずっと続けておりますので、発展させる方向で、ベクトルはそちらへ向いているんですけど、そうしたこともいろいろな方面からご意見をいただくということで、一つ今後の重要な課題ということで、無視できないことだとはすごく感じております。今日のところは感じているということでお許しいただければと思います。今後見直しが必要になるということも出てくるかと思えます。

■教育長 ほかにいかがでしょうか。

小栗委員。

■小栗委員 予算とは直接関係ありませんが、先ほど看板の話がありました、関連の意見です。特に外国人観光客に向けた整備をするというのは中津川市にとってもとても大切だと思いますので、一から十まで全部やろうと思うと費用的にも大変ですが、たとえば昔ながらの看板があればそれでいいということじゃなくて、もっとITとか、スマホとかアプリとか、ICTじゃないですが、ふんだんに使わないともったいないと思うのです。これだけの情報化社会の中ですから、翻訳アプリなんて無料のものでもいくらでもありますし、たとえばQRコードを使ってそれで案内をしてもらおうとか、説明をしてもらおうとか、やり方はいくらでもあり、今いろいろな美術館などに行ってもそういうところは非常に多いです。昔は音声ガイドだったのが、そこでQRコードを読んでイヤホンで、自分の携帯が音声ガイドになるということとか。全部作らなくても、すでにあるようなものをうまく利用するという

のも一つなのかなと思います。あまり費用的にも、そちらの方が安くなるのじゃないのかなと思ったりします。そんなこともご検討いただくといいかなと思います。

■教育長 川合文化振興課長。

■文化振興課長 苗木城の看板の多国語化を検討しているという話もしましたが、うちの担当とちょっと話したところ、日本語表記して英語表記して韓国語、中国語とかいろいろ表記していくと、看板が大きくなるか、文字が小さくなって見えないと。今小栗委員がおっしゃったようなQRコードとか、いろいろなアプリが今あって、それを利用して、看板そのものは小さいものだけど、音声でそれを聞き取って知るという方法があるということで、若い職員からもそういう意見が出ております。同じことをまた小栗委員からご指摘を受けましたので、今後検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

■教育長 そのほかいかがでしょうか。

田島委員。

■田島委員 外国人の話が出ました。保育園に今中京学院に留学生の方がいて、中国人、ベトナム人、タイの方と保育園で食育も兼ねて国際交流をやっているところが、私が知っているところで2園あります。そこでは小さい子どもたちは臆することなく外国人に話しかけていくのです。それでとても楽しい世界をつくっていくのですが、だんだん大きくなっていくと、英語の勉強をしているにもかかわらず一言もしゃべらなくなってしまいます。中学でやったこともあるのですが、中学生になってくると、恥ずかしがって自己紹介もできなくなってしまっていました。中津川の駅前には本当にたくさんの外国の方、見て分かる方だけでもたくさんおられます。日本人とよく似たアジア系の方もたくさんおられます。林委員が声をかけられるという話をしましたが、私は反対に、英語ができないのですが、助けたい方なのです。そうすると、通じるとすごく楽しいです。そういうワクワク感を味わえるじゃないですか、中津川の駅前で。たとえば観光地馬籠に行ったらもっとすごいです。ものすごくたくさんの外人さんがいてしゃべり放題です。そういう勇気や、やる気とかを起こさせる教育をしていけば、国際人に少しでも近くなるのじゃないかと思うのです。そういうことはいかがでしょうか。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 地域を生かす教育といった部分については、委員のおっしゃる通りその利点を生かしていくという方向で学校に進めていきたいと思えます。苗木の中学校が岐阜県教育長賞の表彰を受けました。苗木城のピーアール、苗木地区への観光客の誘致といったことを中学生目線で企画運営していただいた賞です。そういった地域を生かすといった部分で行くと、神坂もそうですし苗木もそうですし、または

蛭川といった、そういったところも今後期待できるところかなと思っておりますので、外国語教育も含めて、地域を生かした教育を推進していきたいと思っております。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 先ほど末木次長から教育委員会の関係の全体の予算の割合を教えてくださいましたが、文化スポーツ部も入っての割合だったのですか。入った割合があったら教えてくださいませんか。

■教育長 ほかによろしいでしょうか。

それでは1から5の全体を通して何かありましたらお願いします。

なければ議第4号について承認ということでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。議第4号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」は原案通り承認といたします。

これもちまして本日の議事は終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは事務局から次回の開催日程についてお願いします。末木事務局次長。

■事務局次長 次回は3月6日火曜日13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室で行いますのでよろしくお願いします。中学校卒業式の午後になります。

■教育長 次回は平成30年3月6日、1時30分からここにぎわいプラザ4-1会議室で開催します。卒業式の後ですがよろしくお願いします。

以上で平成30年第2回中津川市教育委員会を終了といたします。ありがとうございました。

[閉 会(午後3時42分)]